

週刊 仮設きずな新聞

第12号(年末号)

ピースポート災害
ボランティアセンター
石巻市中央2-4-6
090(6639)6467

ふれあい商店街



セレモニーで、石巻商工会議所の浅野会頭が「石巻の力が発揮される大きな拠点として、市民の皆さんに利用して頂きたい」と挨拶され、仮設店舗会の梅会長は「ふれあい商店街をオープンできたことをステツプとして、ジャンプに向けて頑張っていく」と力強く仰っていました。

早朝に雪が降った12月10日に、石巻駅付近に新しく出来た「石巻立町復興ふれあい商店街」がオープンしました。被災して営業できなくなった飲食店や電気店、理容室などの21店舗が仮設店舗にて営業再開することができました。オープンニング

人は「こういう明るい事があるのは嬉しい。また買いに来ます」と野菜などを買い求めていました。商店街のどこからでも、頑張っているお店の人の声と、買い物客からのオープンできた事への祝福の声が聞こえ、商店街は喜びの声に包まれて、冬の寒さを忘れるくらい暖かい場所となりました。また、ふれあい商店街がオープンした事により、立町大通にも人が流れて行き、大通りのお店でもお買い物を楽しんでいる人たちが見かけられることができました。立町大通にもふれあい商店街の活気が伝わった様で、大通りにも明るさがありました。梅会長が仰っていた「ジャンプ」に向けて、石巻の中央をみんなで応援して行きましょう。(きたむー)

雄勝店二屋街 クリスマスイベント



一足早いクリスマスが12月11日の雄勝店二屋街(たなこやがい)にやってきました。まず最初に、子ども達がツリーの飾りを作った、飾りつけをしたツリーをみんなでカウントダウンして点灯させ、雄勝にクリスマス特有の小さい

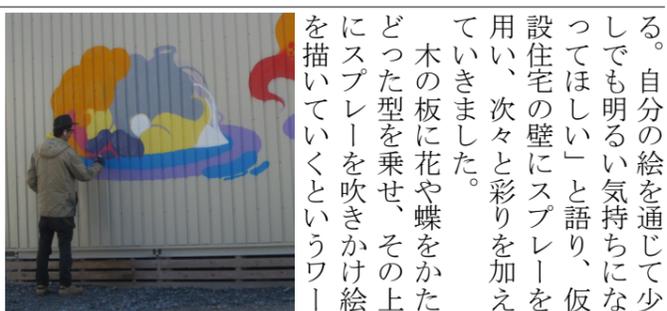
震災から9ヶ月になる12月11日に、渡波にあるイオンの駐車場で、漁協復興祭が行われました。この祭りは、毎年、11月23日に行っていた「牡蠣祭り」が、震災の影響で日程をずらし、名称を変更して行われました。津波により、牡蠣の養殖施設も大ダメージを受けました。しかし、漁協職員や漁師さん達の復興に向けた努力のおかげで、石巻カキを再び販売することができるようになりました。会場では、生牡蠣や殻牡蠣が通常よりも安い値段で販売され、牡蠣汁や焼き牡蠣、牡蠣シチューなどが振舞われました。例年のカキ祭りより小さな会場でしたが、例年のように会場には多くの人たちが集まり、来場者はそれぞれ様々なカキ料理を美味しそうに味わっていました。美味しそうなお顔をみて、石巻牡蠣の復活のきざしを見た気がしました。(きたむー)

漁協復興祭



団地におじゃまします! 仮設に彩りを

仮設団地沿いの通りを歩いてみると、色とりどりの花や魚の絵が仮設住宅の壁に描かれています。その絵を描いているのは、ブラジル出身のグラフィティアーティスト、チチ・テイスト、チチ・フリークさん。国際交流基金の主催する企画に賛同し、石巻に来ています。チチさんは、「色彩は人の気持ちを楽しくさせ



自分の絵を通じて少しでも明るい気持ちになつてほしい」と語り、仮設住宅の壁にスプレーを用い、次々と彩りを加えていきました。木の板に花や蝶をかたどった型を乗せ、その上にスプレーを吹きかけ絵を描いていくというワ



クシヨップも同時に開催され、多くの住民の方が初めての体験を楽しんでいました。完成した作品は持ち帰ることができ、「玄関に飾ろうか、それとも部屋に飾ろうかな」と嬉しそうに悩んでいる女性の姿もありました。仮設住宅に住む方のなかには、震災により思いの品が流されてしまった人も多くいらつしやいます。それにより、思い出も失われてしまったと感じている方もいらつしやるかもしれません。ワークシヨップに参加した

編集後記

「年末拡大版」創刊号から編集長として、関わらせていただきました。12号まで、毎週毎週、締め切りに追われ、いつの間にか年末になっていました。いつも助言や要望を頂き、ありがとうございます。何とか形に出来るように頑張りますので、暖かく見守って頂ければ嬉しいです。これからも色々とお教え下さい。今年も普段の年末とは違ったものになると思っております。今年もお世話になりました。お体だけは気をつけて、よい年をお過ごし下さい。来年もよろしくお願ひいたします。皆さん、またね!(きたむー)



石巻市は、本誌を発行しているピースポートのほか、これまでのべ10万人以上のボランティアを受け入れてきました。石巻に入ったボランティアは地元の人と結びついて支援を届けています。その中で、石

巻市民が自ら立ち上がった支援活動をおこなう団体の一つが黄金浜会館に拠点を構える「石巻市復興を考える市民の会」です。会の代表は、社協からのボランティアの派遣が追い付かず、地域の復旧が遅れる中で、地域の困っている人のところに自力で大量の人を集めて派遣しています。そんな市民の会が、地元の保護者と一緒につくったのが黄金浜ちびっこ広場。震災後、道路や公園

宅が建設されて、子供の遊び場がなくなつていました。そこで、あるボランティア団体と市民の会が中心となって市に呼び掛けてグラウンドを整地し、そこに自らの手で子供が安心して遊べる広場を作りました。小刀を使って竹トンボを作ったり、火をおこしてご飯を作ったり...。毎週末、地域のひととボランティアが見守る中、子供達の元気な笑い声と走り回る姿でいっぱい

つるの湯が再開します
2012年1月1日
富士山の絵が できました
ぜひ 入りみてください
石巻市住吉町1-8-43
☎0225-23-1636

十三浜にて復興市開催!
【復興市“絆”感謝祭】
<日時>2011年12月23日(金) 10:00~14:00
<会場>北上中学校体育館
(宮城県石巻市北上町十三浜字小田93-1)
<内容>地場産品・飲食販売、ステージイベント、豪華賞品抽選会
主催:石巻市北上地域物産振興協会

裏面 クロスワード
12号で今年最終号となります。
13号は1月7日から配布開始します!
意見募集!
連絡先(編集室)
090(6639)6467
kasetzukizuna
@pbv.or.jp

第12号特別企画 仮設きずな新聞特製クロスワード！！

石巻ご当地クロスワード

1, 2	(3)	4		5
6		()		
7			8	
()		9		10
11			12	

Q 石巻の冬の名物といえば？

A ○○○巻き

タテのカギ

1、日和山で行われたキャンドルナイトを見て、住民の方がつぶやきました。「まるで、○○○○○！」

3、北上川で取れる○○○は全国的に有名な貝です。

4、田代島には特にたくさんいます。

5、石巻市の西側に位置する仙台のベッドタウン ○○町

8、「○○○、日和山に朝日を見に行きましょう」「いいですね」

10、漁業で使う浮きの別名は？

ヨコのカギ

2、石巻を代表する漫画家といえば？
○○○○○章太郎

6、牡鹿半島で水揚げされます。

7、ある動物に鳴き声が似てるからという理由で名前を付けられた鳥です。

9、三陸産のとろろ○○○は質のよいことで有名です。

11、石巻弁で「そう」という意味です。

12、2005年合併後最初の市長の名前は？
○○喜美夫

冬クロスワード

1, 2	()	3		4
		5		
(6)	7			()
8			9	
10				()

Q 小学校の書き初めでよく書かれる言葉です。

A ○○○○

タテのカギ

1、お正月の遊びの定番。

3、この季節はやっぱり、コタツに○○○ですよね。

4、クリスマスには食べたいですね。

7、親元を離れて○○○している息子が正月に帰ってくる。

9、1月7日に食べるものといえば？

ヨコのカギ

2、「子は親の○○○」

5、部屋でストーブを使う際、定期的に○○○をしましょう。

6、最近ブームになったモロッコの鍋といえば？ ○○○鍋

8、2017年の干支は？

10、二十四節気の第一。

二問とも解けましたでしょうか？
解答は、13号に掲載予定です。(たけお)